

## 黒瀧 保士

1986年、東京都出身  
俳優、舞踊家、振付家

2010年、日本マイム研究所の所長、佐々木博康氏にマイムを師事。  
並行してクラシカルバレエを学ぶ。

2011年、山口情報芸術センターにて開催された勅使川原三郎が主宰する  
KARASのソリスト、佐東利穂子講師によるワークショップへの特別参加を機に、  
2019年まで継続的にワークショップへ参加。勅使川原三郎のダンスメソッドを学ぶ。

2019年12月、勅使川原三郎からの言葉をきっかけに自身の創作活動を再開。  
演劇では、2010年～2016年までNODA・MAPの作品にアンサンブルとして出演。  
2010年9月に上演したNODA・MAP番外公演「表に出ろいっ！」(作・演出:野田秀樹)  
では、演出助手を務めた。

野田秀樹総監修の東京キャラバンにも出演を果たす。

2023年6月、東京・両国シアターXにて開催された  
SAI DANCE FESTIVAL 2023 COMPETITION で発表したソロのダンス作品『詩のかなたの詩』  
が最優秀作品賞を受賞。クンサン(韓国)、マカオ(中国)、ヘルシンキ(フィンランド)、  
京都(日本)の各地で開催されるダンスフェスティバルへ招聘が決定するなど、  
国内外で活動の幅を広げている。

重力、空間、物体、光、心象に重きを置き、  
自他の身体感覚や皮膚感覚、身体を支えるための重心移動、  
身体の記憶から想像を飛躍させ動きを創作。

人間の儚さ、人間とは何かをテーマにマイムを基にした身体表現を追求している。



-主な活動歴-

・2023年9月

群山市(韓国)にて開催される、2023 Kunsan International Festivalにて、  
『詩のかなたの詩』を上演

・2023年9月

マカオ(中国)にて開催されるダンスフェスティバル Macao CDE Springboardにて、  
『詩のかなたの詩』を上演

・2023年8月

布施砂丘彦/ムウシケ『忘れちゃったかなしみに』にダンサーとして出演 @北千住 BUoY

・2023年6月

SAI DANCE FESTIVAL2023 COMPETITIONにて、新作のソロダンス作品『詩のかなたの詩』を発表し、最優秀作品賞を受賞

・2023年1月

文化庁委託事業「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」  
現代舞踊新進芸術家育成Project2

Choreographer's concert vol.2にて、新作ダンス作品「constellation」を発表

・2022年11月

贅沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』(作・演出:山田由梨) パリ日仏文化会館大ホール公演に演出助手として参加

・2022年10月

REFLET DANCE FESTIVALにて、新作のソロダンス小品「月の独奏」を発表

・2022年6月

梅雨の走りの本谷有希子「マイ・イベント」に演出助手として携わる

・2022年5月

SAI DANCE FESTIVAL2022 COMPETITIONにて、新作のソロダンス作品『目の散歩』を発表。  
本作品が2023年春にフィンランドのポリ市で開催される

Theatre Festival & Rakastajat Theatreへ招聘が決定

・2022年1月

東京演劇道場第二期生に参加

・2021年10月

(一社)現代舞踊協会新企画「Choreographer's Concert Vol.1-字-」にて、  
新作のダンス作品「Gauche」を発表

<http://www.gendaibuyou.or.jp/stage/stage-p/s21103000>

・2021年8月

東京キャラバンin駒沢オリンピック公園 総合運動場・体育館に参加

・2021年6月

(公社)神奈川県芸術舞踊協会企画 ダンスカナガワフェスティバル2021にて、  
新作のダンス小品「青い月と道化」を発表

・2020年10月

伊勢市クリエイターズ・ワーケーションに入選。10日間の滞在制作を行う

[https://www.city.ise.mie.jp/bousai\\_kyukyu/anzen/kikikanri/coronavirus/shien/1010426.html](https://www.city.ise.mie.jp/bousai_kyukyu/anzen/kikikanri/coronavirus/shien/1010426.html)

・2019年11月

小野寺修二 ワークショップ&ショーイング『甘えの構造』に企画・制作者として携わる

[https://derashinera.jp/activity/ws\\_vacant-2019/](https://derashinera.jp/activity/ws_vacant-2019/)

・2019年9月

VERTIGO『めまい』-情報化社会において「個人を取り戻すこと」についての模索-  
に作品構成を伺いモチーフの提供をする

<https://www.houyhnhnm.jp/feature/294898/>

・2019年8月

夏の日の本谷有希子『本当の旅』に企画者として携わる

[http://www.motoyayukiko.com/next\\_performance/](http://www.motoyayukiko.com/next_performance/)

・2018年6月

SETSUNA企画#1「なんかやりたい」にディレクターとして携わる

<https://www.fashionsnap.com/article/2018-05-18/setsuna1/>

・2017年10月

Rosas 池田扶美代 “Powerlessness” に企画・制作者として携わる

<https://ginzomag.com/interview/fumiyoikeda-contemporarydance/>

・2017年8月～9月

東京キャラバンin京都にパフォーマーとして参加

・2016年10月

東京キャラバンin六本木にパフォーマーとして参加

・2016年9月

東京キャラバンin東北にパフォーマーとして参加

・2016年1月～4月

NODA・MAP第20回公演『逆鱗』（作・演出 野田秀樹）にアンサンブルとして出演

・2015年10月

東京キャラバンin駒沢オリンピック公園にパフォーマーとして参加

・2013年10月～2019年12月

KARASAPPARATUSにて勅使川原三郎が主宰するKARASのダンスワークショップを受講

・2013年1月

川崎市アートセンターアルテリオ小劇場にて「mirror in the mirror」(構成・美術・照明・衣装・選曲 黒瀧保土)を発表

<https://kawasaki-ac.jp/th/theater/detail.php?id=000018>

・2012年9月～10月

NODA・MAP第17回公演『エッグ』(作・演出 野田秀樹)にアンサンブルとして出演

・2011年11月

山口情報芸術センターにて開催されたダンスワークショップに特別参加。

勅使川原三郎が主宰するKARASのソリスト、佐東利穂子が講師を務める

<https://www.ycam.jp/events/2011/dance-workshop-by-rihoko-sato/>

・2011年2月～3月

NODA・MAP第16回公演『南へ』(作・演出 野田秀樹)にアンサンブルとして出演

・2010年10月～2013年3月

日本マイム研究所にて佐々木博康氏からマイムを師事

・2010年9月

NODA・MAP番外公演『表に出ろいっ!』(作・演出 野田秀樹)に演出助手として携わる

・2010年6月～8月

NODA・MAP第15回公演『ザ・キャラクター』(作・演出 野田秀樹)にアンサンブルとして出演

・2005年5月～2006年3月

劇団新制作座に研究生として入団。劇団員の関口義男氏に芝居の手ほどきを受ける